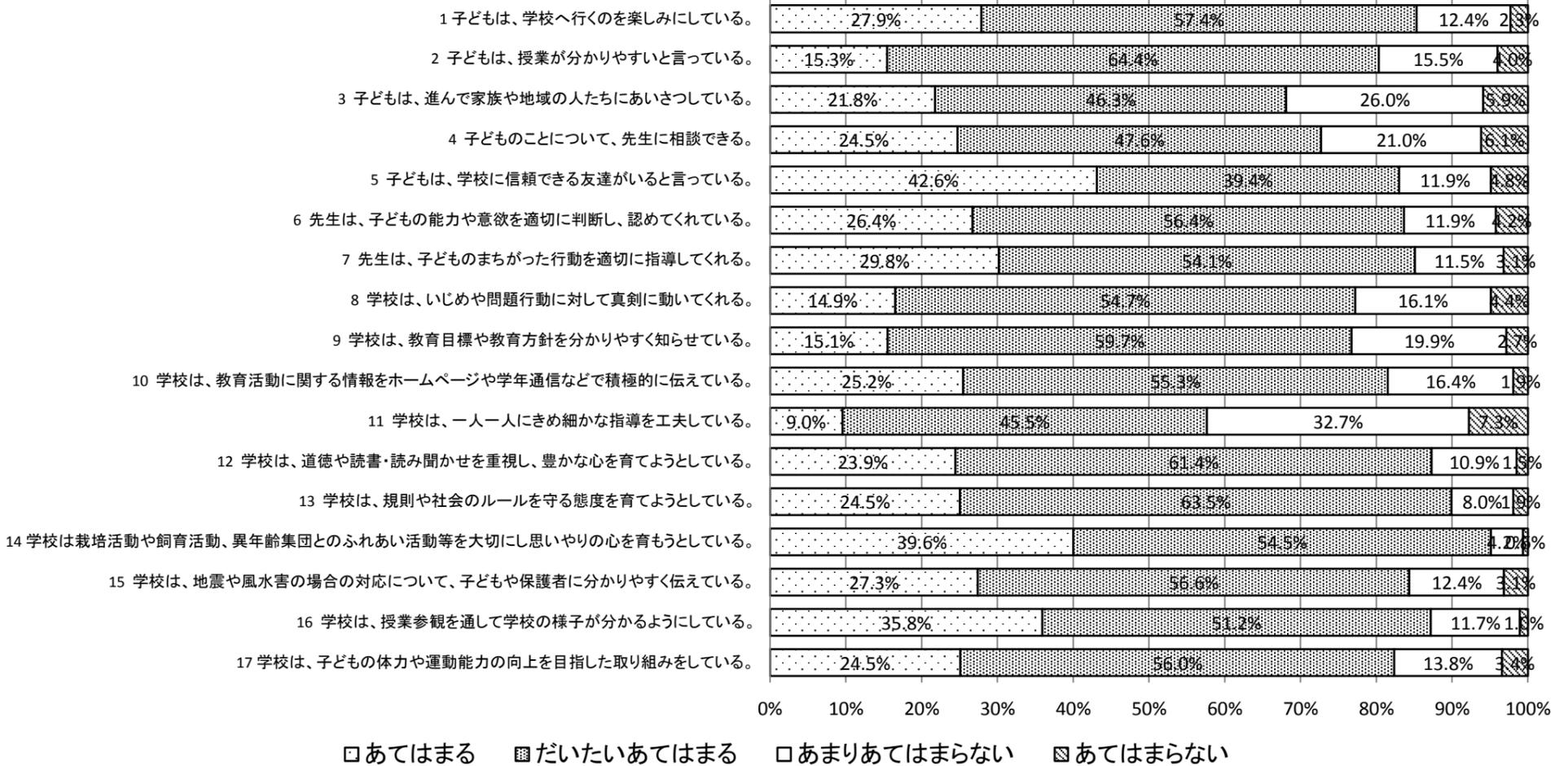


# 平成30年度幸田小学校学校教育診断アンケートの集計結果について 平成31年3月5日

12月にお願いをして実施いたしました幸田小学校「学校教育診断アンケート」の集計結果を、下記の通りお知らせいたします。ご多用のなか、ご協力有り難うございました。この結果をもとに、より充実した教育活動が展開できるよう改善できることから取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

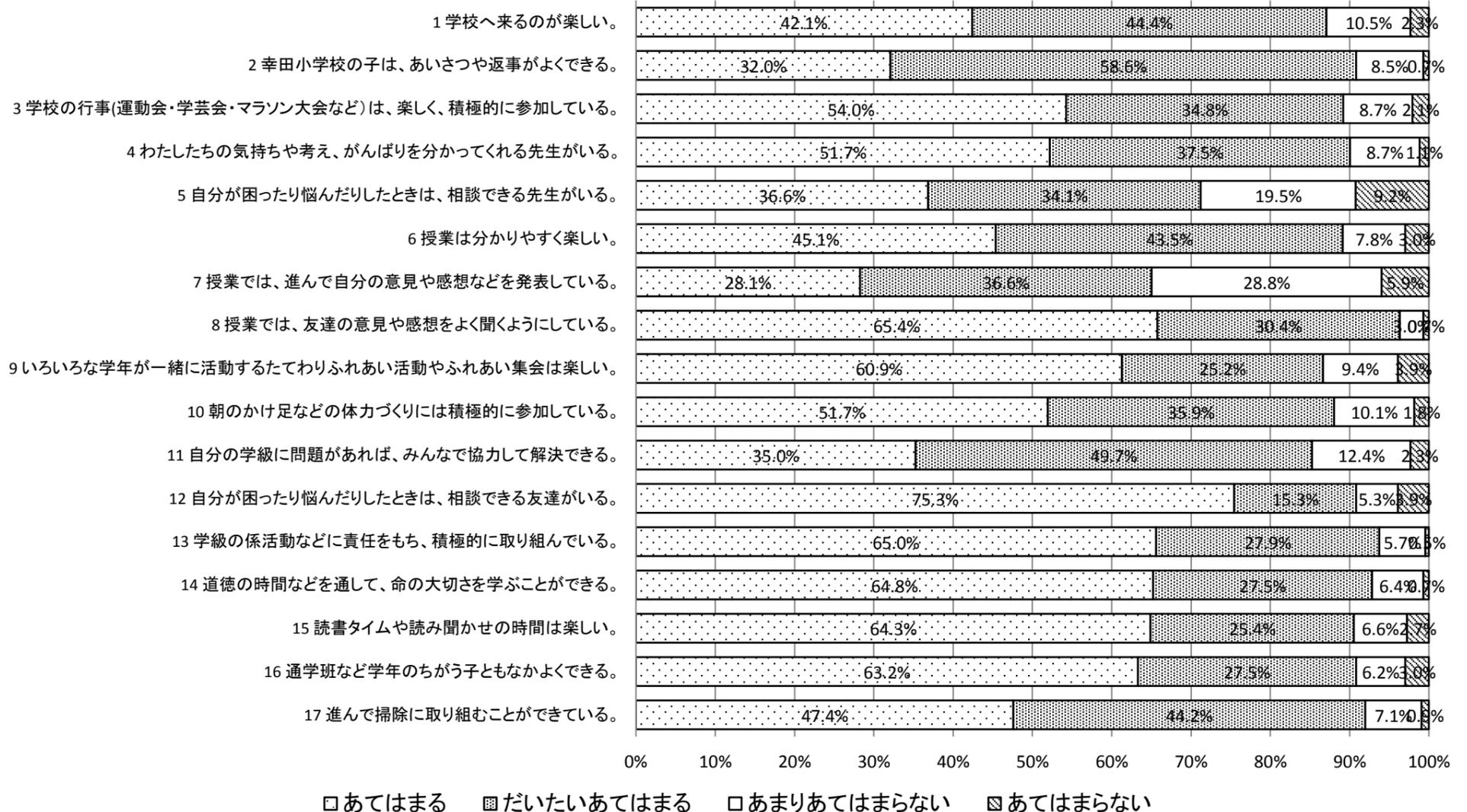
## 1 集計結果一覧グラフ (保護者)

### 平成30年度学校教育診断アンケート(保護者)集計結果 平成30年12月実施



## 2 集計結果一覧グラフ (4～6年児童)

### 平成30年度学校教育診断アンケート(児童)集計結果 平成30年12月実施



### 3 調査結果から見た傾向や特徴 ※ ( ) 内の数値は、昨年度との比較

#### 楽しい学校生活

85.3% (+0.2%) の保護者、86.5% (-1.9%) の児童が「1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」「1 学校へ来るのが楽しい」と答えています。授業や学校行事を通して、児童が「学校って楽しいな」と感じられるように引き続き取り組んでいくとともに、児童一人一人の個性がより発揮できるように努めていきたいと思ひます。

#### 学ぶ意欲を高める授業

「2 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」と回答している保護者は79.7% (+2.8%)、「6 授業が分かりやすく楽しい」と回答している児童は88.6% (-0.8%) と、児童については昨年度よりやや減少したものの概ね高い割合となっています。また「8 授業では、友達の意見や感想をよく聞くようにしている」と回答している児童が95.9% (±0%) と昨年度に引き続き聞く姿勢が大変よく身につけていることが分かります。反面「7 授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している」と回答している児童は64.8% (-0.8%) で、低い割合が続いています。ペアやグループ等、話し合いの形態をさらに工夫することによって、児童が自分の考えを自信をもって表現できるように支援していきたいと思ひます。「11 学校は、一人一人に応じたきめ細かな指導を工夫している」と回答している保護者は54.5% (-2.7%) と、昨年度より減少傾向にあり、全体的にも低い割合となっています。指導方法を見直し、今まで以上にいいいな子ども理解と個別指導に努めていきたいと思ひます。

また、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、次のような取り組みを続けてきました。

- <国語>
  - ・単元の中に意図的に書く時間を設け、書く内容を指導することによって、目的や意図に応じて必要な内容を整理して書く力を伸ばす。
  - ・ペア、グループそして全体と、さまざまな形態で話し合いの場を設定し、かわり合いを工夫することによって、児童が自分の考えを広げたり、深めたりできるように支援する。
- <算数>
  - ・問題に示された条件をよく確かめ、内容を正しく理解してから解くように指導することによって、示された条件を基に、適切な式を立てる力を伸ばす。
  - ・説明の際は、理由や根拠を示して、理論的かつ相手に分かりやすく伝えることができるように支援する。
- <家での生活等>
  - ・決められた内容の宿題をほぼ毎日出すことによって、家庭での学習習慣が身につくように支援する。
  - ・テスト前に内容を予告し、それに備えて学習することを復習の機会とすることで、漢字や計算の力の定着を図る。
  - ・家庭での読書を推奨し、児童の感性を伸ばす。

#### 基本的な生活習慣

「2 幸田小学校の子は、あいさつや返事がよくできる」と回答した児童は90.6% (+1.2%) とあいさつに対する児童の意識は相変わらず高く、児童会が中心となって全校のあいさつを見直し、さらに高める活動を行った成果が表れています。一方「3 子どもは、進んで家族や地域の人たちにあいさつしている」と回答している保護者は68.1% (+1.8%) と増加傾向にあるものの、低いといえます。今後さらに、登下校中や地域でのあいさつに対する児童の意識を高め、校外でも自然にあいさつのできる児童を育てていきたいと思ひます。

#### 一人一人を大切にされた教育活動・いじめへの対応

「4 子どものことについて、先生に相談できる」と回答している保護者は72.1% (+0.5%)、「5 自分が困ったり悩んだりしたときは、相談できる先生がいる」と回答している児童は70.7% (-5.9%) で、児童については大幅に減少しています。また「12 自分が困ったり悩んだりした時は、相談できる友達がいる」と回答している児童は90.6% (-0.9%) と高い割合であるものの減少しています。この結果をしっかりと受け止め、児童が悩みや苦しみを一人で抱え込むことなく、気軽に相談できる学校の雰囲気作りや

体制作りを努めていきたいと思ひます。

「6 先生は、子どもの能力や意欲を適切に判断し、認めてくれている」と回答した保護者は82.8% (-0.5%)、「4 わたしたちの気持ちや考え、がんばりを分かってくれる先生がいる」と回答した児童は89.2% (+1.3%) と、児童については先生に頑張りを認めてもらえたと感じている子が増えたという結果が出ています。今後も、児童一人一人の良いところを見つけ、ほめて認める指導を大切にすることで、児童の自己肯定感を伸ばしていきたいと思ひます。

「8 学校は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる」と回答した保護者が69.6% (-5.5%) と、昨年度より大幅に減少しています。この結果を真摯に受け止めたいと思ひます。いじめのアンケートや個別面談の実施、いじめ・不登校対策委員会や週1回の情報交換会の実施等、これまでの活動を着実に続けていくのはもちろんのこと、日常生活における児童の様子の変化にいち早く気づき、保護者や児童から信頼される学校・学級づくりに努めていきたいと思ひます。

#### 開かれた学校

「9 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている」と回答した保護者は、74.8% (+3.7%) で昨年度より増加傾向にありますが、十分とはいえません。今年度も、4月初めに教育計画全般について保護者にお伝えするために、教育計画書を配付しました。今後も、ホームページや通信等で学校の教育活動をお伝えする機会を増やし、保護者のより一層のご理解とご協力を得られるよう努力をしていきたいと思ひます。

#### 心の教育

「12 学校は、道徳や読書・読み聞かせを重視し、豊かな心を育もうとしている」と回答した保護者は85.3% (+1.3%) と昨年度より高い割合となっています。また、「15 読書タイムや読み聞かせの時間は楽しい」と回答している児童の割合は89.7% (-1.9%) と若干減少したものの、読書や読み聞かせの時間を非常に楽しみにしていることが結果に表れています。引き続き、教育活動全般を通して、児童の心を耕し、感性を磨いていきたいと思ひます。

「11 自分の学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる」と回答した児童は84.7% (+5.4%) と昨年度より高い割合となっています。今後も引き続き、教師の温かい見守りと支援を続け、自分たちで考え行動することによって問題を解決していくことができる、たくましい学級集団を育てていきたいと思ひます。

「9 いろいろな学年と一緒に活動するたてわりふれあい活動やふれあい集会は楽しい」と答えた児童は86.0% (-4.8%) と減少したものの割合としては高い状況にあります。児童会が中心となって、集会やふれあい活動等、異年齢集団のかかわりを大事にしてきた成果といえます。「16 通学班などの学年のちがう子どももなかよくできる」と回答した児童も90.6% (+1.0%) と、昨年度より高い割合となりました。今後も、通学班等の日常の活動において良好な人間関係を保つための適切な指導と支援を続けていきます。

#### 体力づくりへの取組

「17 学校は、子どもの体力や運動能力の向上を目指した取り組みをしている」と回答した保護者は、80.5% (+5.9%) と昨年度より大幅に増加しました。「10 朝のかけ足などの体力づくりには積極的に参加している」と回答した児童も、87.6% (+0.2%) と昨年度よりさらに高い割合となっています。児童のがんばりを保護者の方にも認めていただいている結果といえます。今後も継続して、体力づくりの時間と場所を充実させ、児童の体力向上に努めていきたいと思ひます。